

ログミーFinance 個人投資家向けIRセミナー

SBIインシュアランスグループ 会社説明資料



SBIインシュアランスグループ株式会社

証券コード：7326 2023年12月19日

事業内容	P. 3
市場環境	P. 11
商品ラインナップ	P. 19
業績の推移（上場期～前期）	P. 35
中期経営計画	P. 41
足元の業績（当第1四半期）	P. 44

（免責事項）

- 本資料に掲載されている事項は、SBIインシュアランスグループ株式会社（以下「当社」）による当社グループの業績、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、日本国内外を問わず、いかなる投資勧誘、保険の募集またはそれに類する行為を目的としたものではありません。また、当社は、本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分について保証するものではありません。なお、本資料の内容は予告なしに変更又は廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

（本資料中の表示）

- 資料内の社名等の表示に、次の略称を使用している箇所があります。

SBI損害保険株式会社・・・SBI損保

SBI生命保険株式会社・・・SBI生命

SBI少短保険ホールディングス株式会社・・・SBIHいきいき少短

SBIいきいき少額短期保険株式会社・・・SBIいきいき少短

SBI日本少額短期保険株式会社・・・SBI日本少短

SBIリスタ少額短期保険株式会社・・・SBIリスタ少短

SBIプリズム少額短期保険株式会社・・・SBIプリズム少短

SBI常口セーフティ少額短期保険株式会社・・・SBI常口セーフティ少短

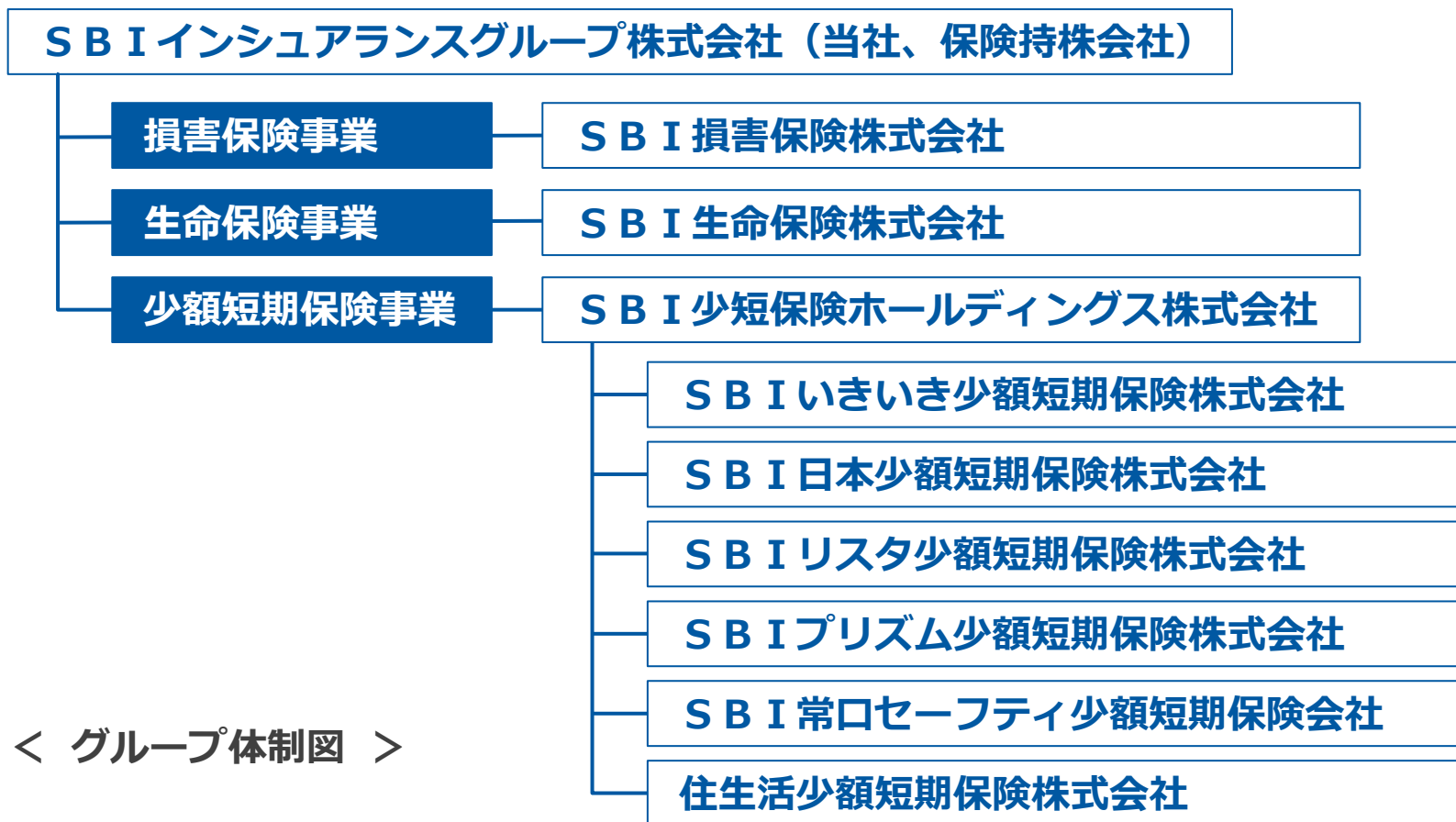
住生活少額短期保険株式会社・・・住生活少短

事業内容





グループ10社の一体経営によって、
総合的な保険事業を運営。
 保険持株会社である当社の経営管理の下、
 連結子会社9社が3つの事業を推進

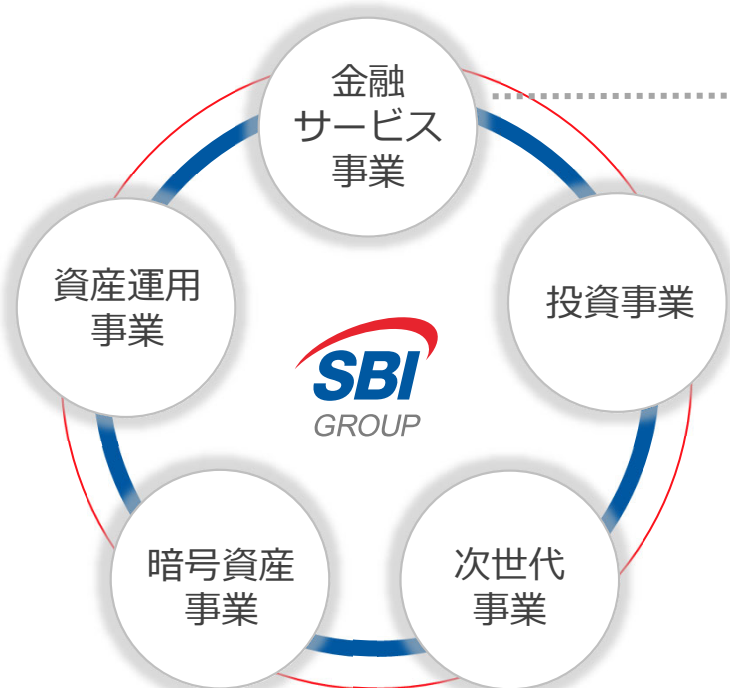


< グループ体制図 >



SBIグループ（当社親会社の企業グループ）
 は、日本のインターネット金融のパイオニア。
 オンライン証券・銀行・保険などの金融サービス事業を中心に、多岐にわたる事業を展開

< SBIグループの事業領域 >



< 金融サービス事業の代表的なグループ会社 >

1. 証券
 - SBI証券** (証券会社)
 - SBIマネープラザ**
 (全国各地で対面営業を行う
 金融商品仲介業者・銀行代理業者・保険代理店)
2. 銀行
 - 住信SBIネット銀行** (銀行)
 - SBI新生銀行** (銀行)
 - アプラス** (総合信販会社)
 - アルヒ** (住宅ローン専門金融機関)
3. 保険
 - SBIインシュアランスグループ10社**
 (保険持株会社・少額短期保険持株会社、
 損害保険会社、生命保険会社、少額短期保険会社)
4. その他



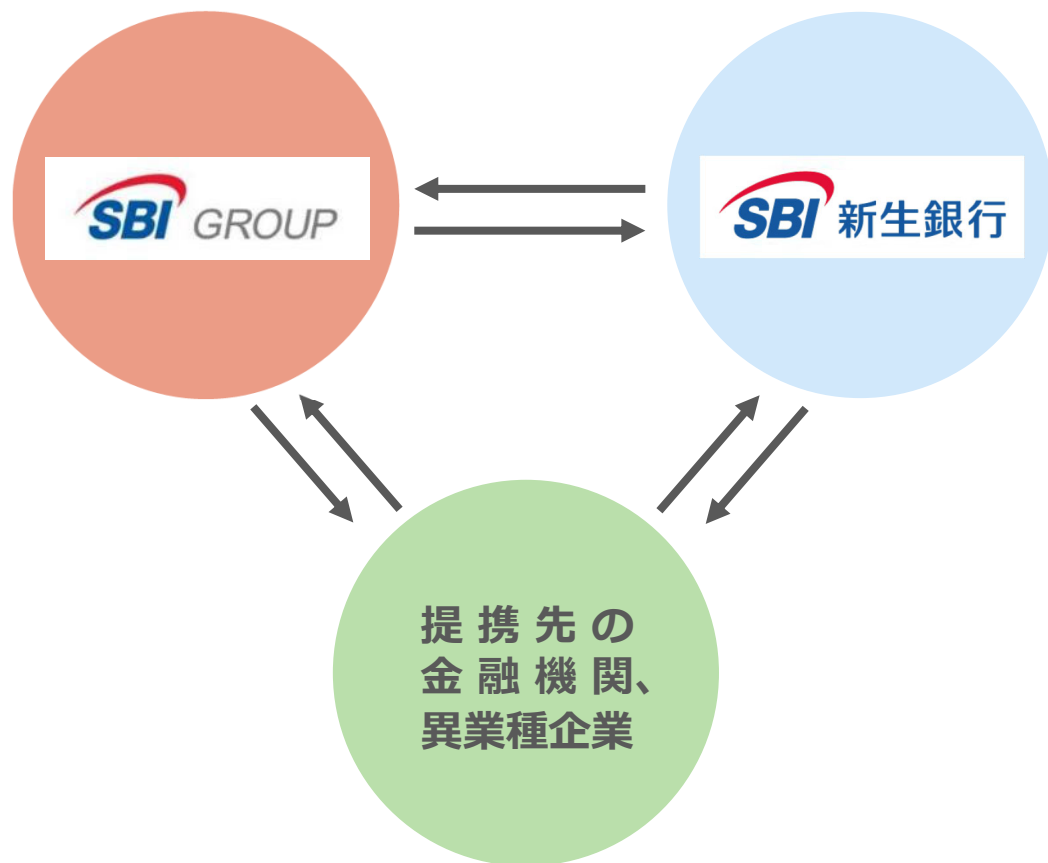
SBI インシュアランスグループは、インターネット、AIなどのテクノロジーを積極的に活用することで、競合会社にはないローコスト・オペレーションを実現





S B I 新生銀行グループや提携先の金融機関・異業種企業 と **広域な連携体制** を構築している **S B I グループ**の顧客基盤を活用した効率的な保険販売で事業費を節約。低価格の保険を提供

< 提携先を含む広域な連携体制 >



- ◆ S B I グループの顧客基盤は、ノンバンクや法人金融を強みとする S B I 新生銀行グループの加入（2021年12月）によって一段と拡大

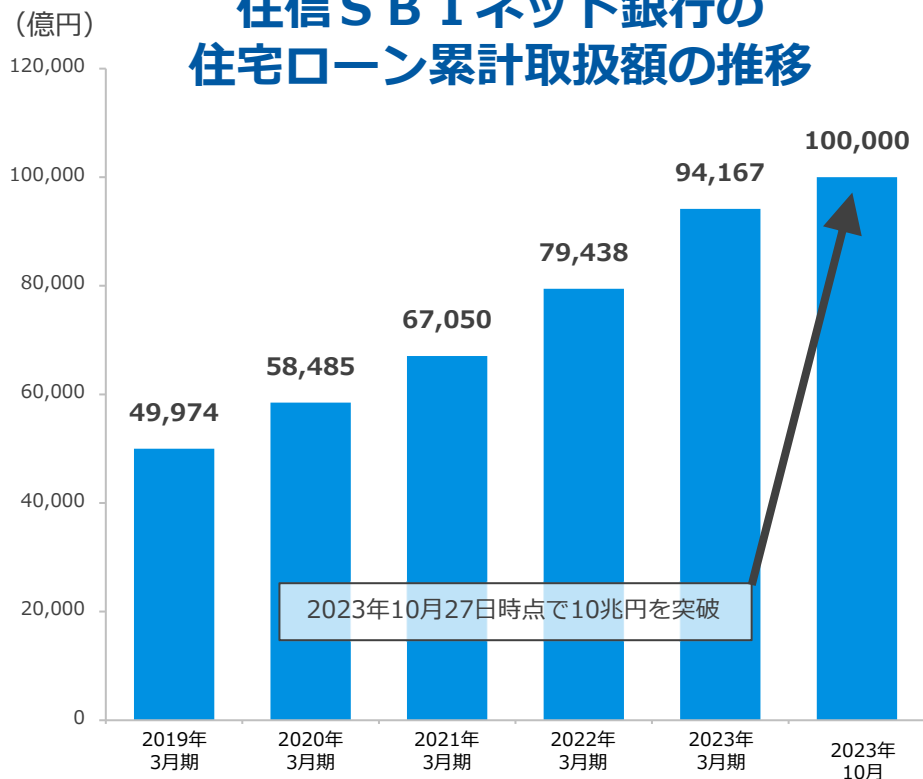
※ S B I 新生銀行の行名について
2000年6月：
「日本長期信用銀行」から
「新生銀行」へ変更
2023年1月：
「新生銀行」から
「S B I 新生銀行」へ変更



< SBIグループの顧客基盤の利用 >

急成長を続ける 住信SBIネット銀行へ
SBIインシュアランスグループが保険商品を提供。
住宅ローンをご利用のお客さまの増加に連動して、
団体信用生命保険や火災保険のお客さまも増加

住信SBIネット銀行の 住宅ローン累計取扱額の推移



◆ SBI生命が、住信SBIネット銀行の住宅ローン向けに**団体信用生命保険**を提供



◆ SBI損保が、住信SBIネット銀行の住宅ローンのお客さまに**火災保険**を提供



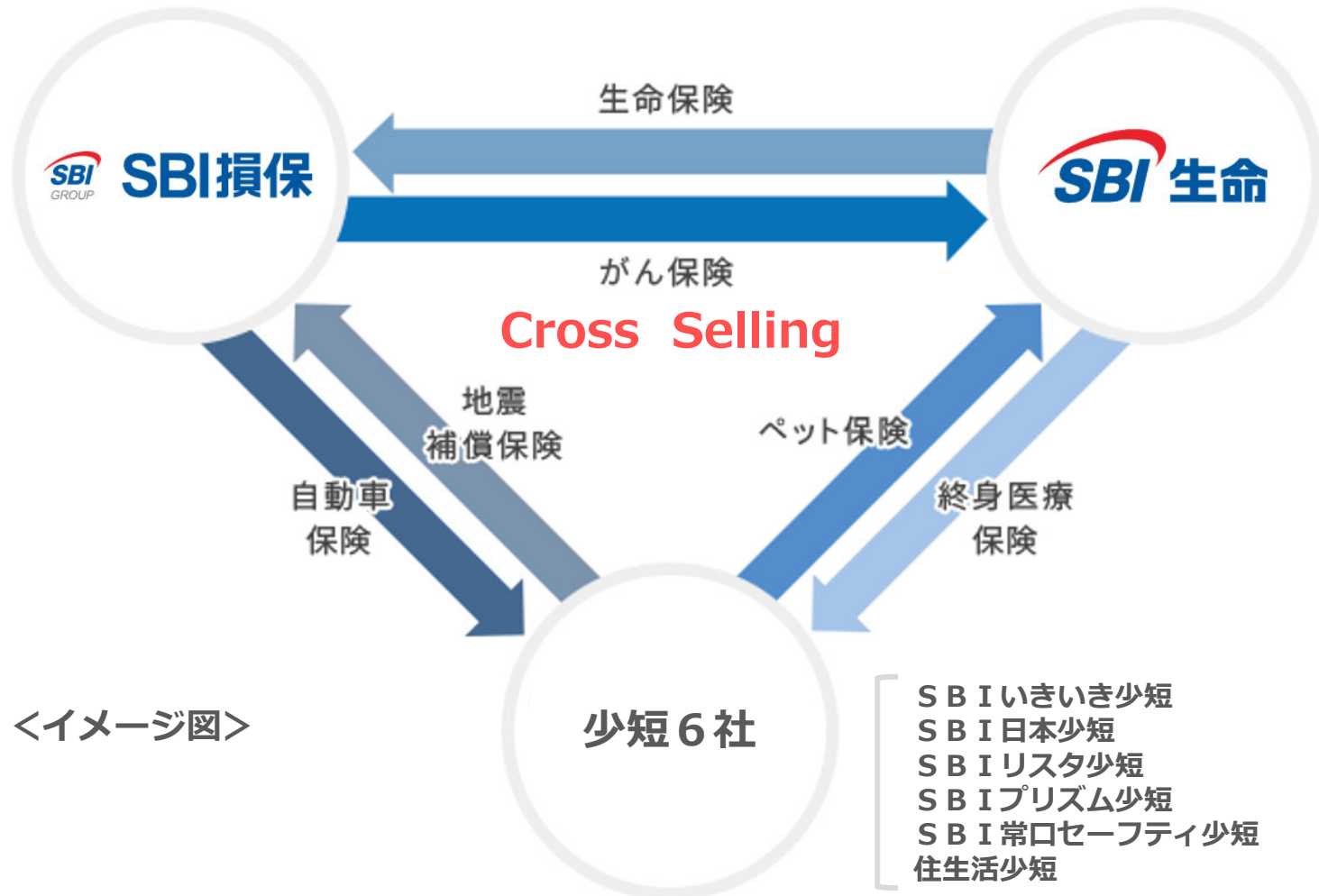
※住信SBIネット銀行株式会社（以下、住信SBIネット銀行）の公表資料に基づき作成。

※取扱額とは、住信SBIネット銀行が販売する住宅ローン、住信SBIネット銀行が三井住友信託銀行株式会社の銀行代理業として販売する住宅ローン、住信SBIネット銀行を所屬銀行として銀行代理業者が販売する住宅ローン、「フラット35」および株式会社優良住宅ローン（2022年3月期以降）により組成された住宅ローン（フラット35、プラスワン）の各融資実行額の合計。



<SBIインシュアランスグループ内の顧客基盤の共有>

グループ各社のユニークな保険商品をクロスセルで提供し合うことで、充実した商品ラインナップを実現

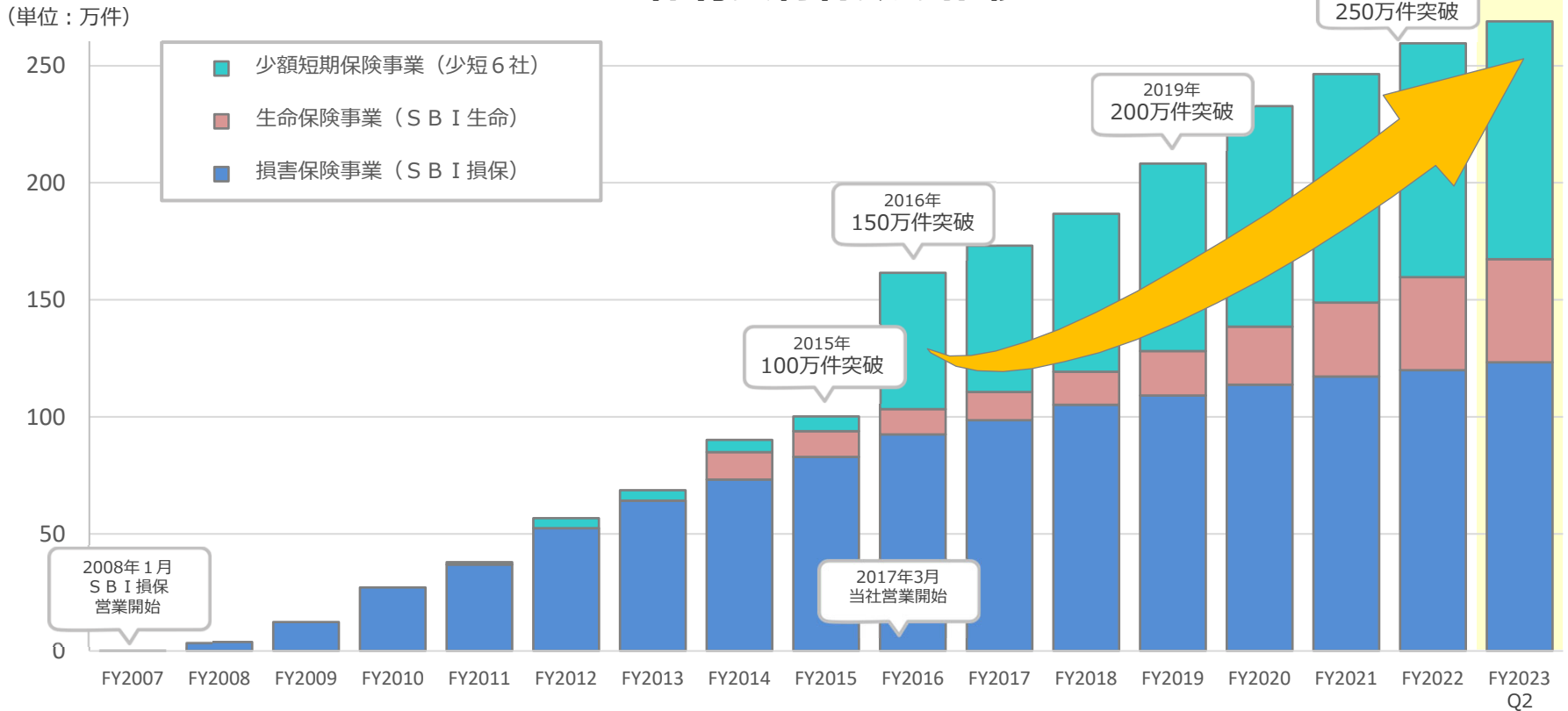


<イメージ図>



事業規模を飛躍的に拡大。
2023年9月末における当社グループの
保有契約件数合計は 268万件

保有契約件数の推移



※生命保険事業の保有契約件数には、SBI生命の団体信用生命保険の被保険者数を含めています。

※当社はSBIグループの保険事業を統括する保険持株会社として2017年3月に営業を開始いたしましたが、当社の各子会社は当社の営業開始前から営業活動を行っているため、上記グラフでは各子会社のSBIグループ加入後（当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社の子会社となって以後）の保有契約件数を表示しています。

市場環境





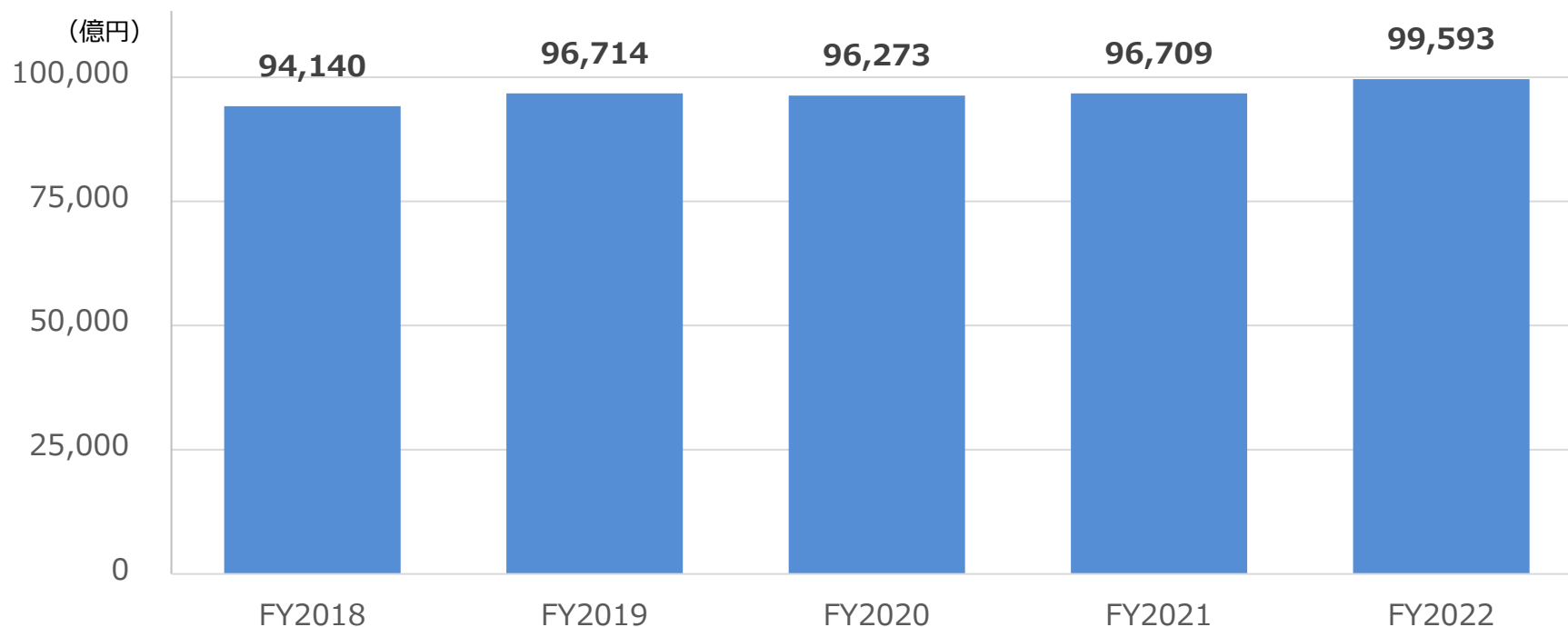
損害保険・生命保険・少額短期保険の
各市場において、**成長分野・グループ
シナジーが効く分野で事業を展開**

- ◆ **損害保険・生命保険は、巨大な市場。**
成長の途上にある当社には**広大な伸びしろ**が存在
- ◆ **少額短期保険は、2006年の改正保険業法 施行で
発足した新しい市場。**ユニークで手ごろな価格の
商品が好評を博し、**成長している市場**
- ◆ 当社は、**保険のインターネット販売、銀行窓販等、
販売チャネル多様化の時流に乗り、事業規模を拡大**

損害保険業界の元受正味保険料は9兆9,593億円（2023年3月期）。
損害保険市場は巨大な市場であり、緩やかな成長基調を維持。
2023年3月期は、各種保険の値上げ効果、円安による追い風などによって元受正味保険料が増加

元受正味保険料の推移

（損害保険会社29社 合計 ※2）



※1 一般社団法人 日本損害保険協会の開示資料より

※2 2023年3月末日時点の一般社団法人日本損害保険協会の会員企業数

損害保険市場は、3メガ損保がシェアの大部分を占める寡占市場。
大手からシェアを獲得するSBI損保は、成長の余地が大きい

元受正味保険料

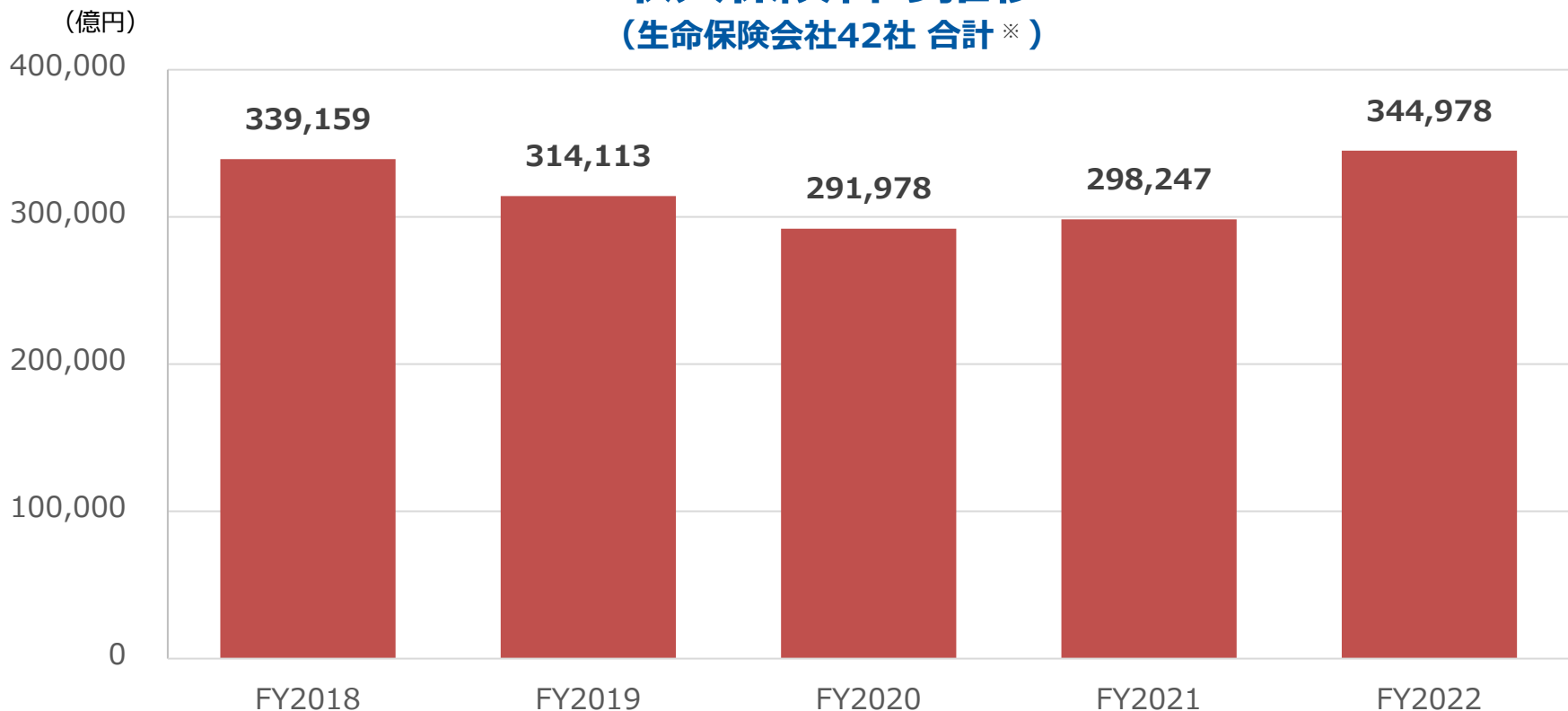
(百万円)

	2023年3月期	シェア
損害保険会社29社 合計 ※2	9,959,335	100%
3メガ損保 合計	9,628,527	97%
MS&ADグループ	4,136,987	42%
東京海上グループ	2,846,830	29%
SOMPOグループ	2,644,710	27%
★ SBI損保	49,654	0.5%

※1 一般社団法人日本損害保険協会、会員各社の開示資料より当社調べ
※2 2023年3月末日時点の一般社団法人日本損害保険協会の会員企業数

生命保険業界の前年度の収入保険料は 34兆4,978億円。生命保険市場は、わが国の少子高齢化や若年層の保険離れを背景に縮小傾向にあるが、損害保険市場を上回るさらに巨大な市場。前年度は、海外金利の上昇に伴う、一時払外貨建て保険の販売増加などによって収入保険料が大幅に増加

収入保険料の推移 (生命保険会社42社 合計 ※)



※ 一般社団法人 生命保険協会の開示資料より

大手生保4社がシェアの36%を占有。シェアは小さいものの、
SBI生命は前期比で20%を超える急成長を継続

収入保険料

(百万円)

	2023年3月期	シェア
生命保険会社42社 合計 ※2	34,497,819	100%
大手生保4社 合計	12,307,652	36%
日本生命	4,646,819	13%
明治安田生命	3,194,937	9%
第一生命	2,251,939	7%
住友生命	2,213,957	6%
★ SBI生命	18,597	0.05%

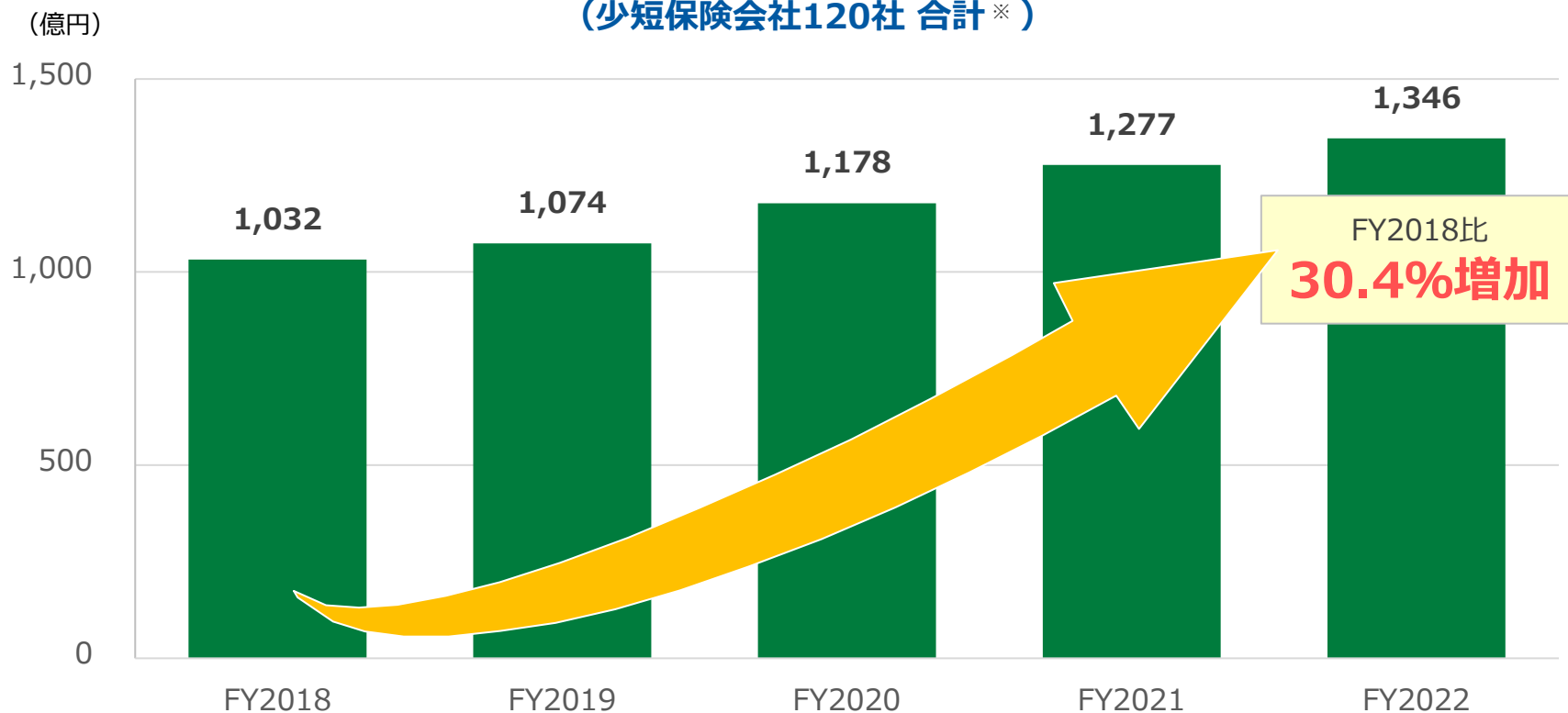
※1 一般社団法人 生命保険協会、会員各社の開示資料より当社調べ

※2 2023年3月末日時点の一般社団法人生命保険協会の会員企業数

少額短期保険業界の収入保険料は 1,346億円（2023年3月期）。
少額短期保険市場は、ペット保険などの新たなニーズを満たす
ユニークな商品が支持されて、高成長が続く

収入保険料の推移

（少短保険会社120社 合計※）



※一般社団法人 日本少額短期保険協会の開示資料より

少額短期保険市場は、大手3グループがシェアの36%を占有。
2021年3月期からは当社グループが業界トップシェア

少額短期保険業界 および 各グループの収入保険料

(百万円)

	2023年3月期	シェア
少短保険会社120社合計 ※2	134,600	100%
大手3グループ	48,241	36%
★ 当社グループ（5社）	19,451	14%
全管協グループ（3社）	16,995	13%
東京海上グループ（2社）	11,795	9%

※1 一般社団法人日本少額短期保険協会および会員各社の開示資料より当社調べ

※2 2023年3月末日時点の一般社団法人日本少額短期保険協会の会員企業数

商品ラインナップ

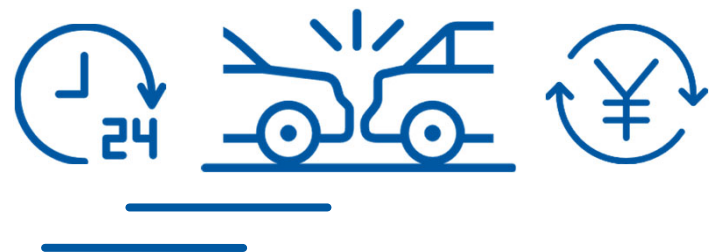


当社グループの商品ラインナップ ～ 競争力のあるユニークな商品 ～

事業	損害保険事業 (SBI 損保)	生命保険事業 (SBI 生命)
種類	自動車保険 がん保険 火災保険	団体信用生命保険、定期保険 就業不能保険、終身医療保険
主要取扱商品	<p>SBI 損保の自動車保険</p> <p>SBI 損保のがん保険 <small>自由診療タイプ</small></p> <p>SBI 損保の火災保険</p>	

事業	少額短期保険事業					
種類	生命保険 医療保険	ペット保険	地震保険	車両保険	家財保険	その他
主要取扱商品	<p>SBI いきいき少短の 死亡保険</p> <p>SBI いきいき少短の 医療保険</p>	<p>SBI いきいき少短の ペット保険</p> <p>プリズムゴール</p> <p>SBI プリズム少短のペット生活総合補償保険 プリズム:5 ペット</p>	<p>SBI いきいき少短の 地震の保険</p> <p><small>地震被災からの再スタート費用保険</small></p> <p>Re:sta <small>リスタ</small></p> <p><small>地震被災者のための生活再建費用保険</small></p>	<p>みんなのバイク保険</p> <p>みんなのスポーツサイクル保険</p>	<p><small>賃貸住宅総合保険 2021</small></p> <p>みんなの部屋保険 G4</p>	<p>法人顧客向け オーダーメイド型 保険</p> <p>(ブライダル保険等)</p>

1. SBI損保の自動車保険



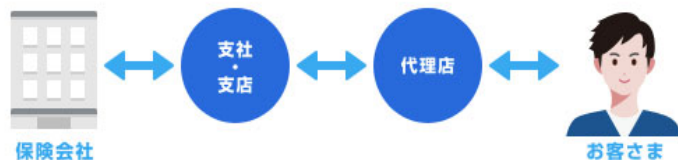


「SBI 損保の自動車保険」は、
リーズナブルな保険料でお客さまに選ばれている
ダイレクト型の自動車保険

◆ SBI 損保 は 支社・支店などを持たず、
人や書類を極力介さずに、主にインターネットを通じて
お客さまと保険契約を結ぶことで、余計な中間コストを
削減し、お手頃な保険料を実現しています。

代理店型自動車保険

.....
人件費などの中間コストが保険料に反映



ダイレクト型自動車保険 (SBI 損保)

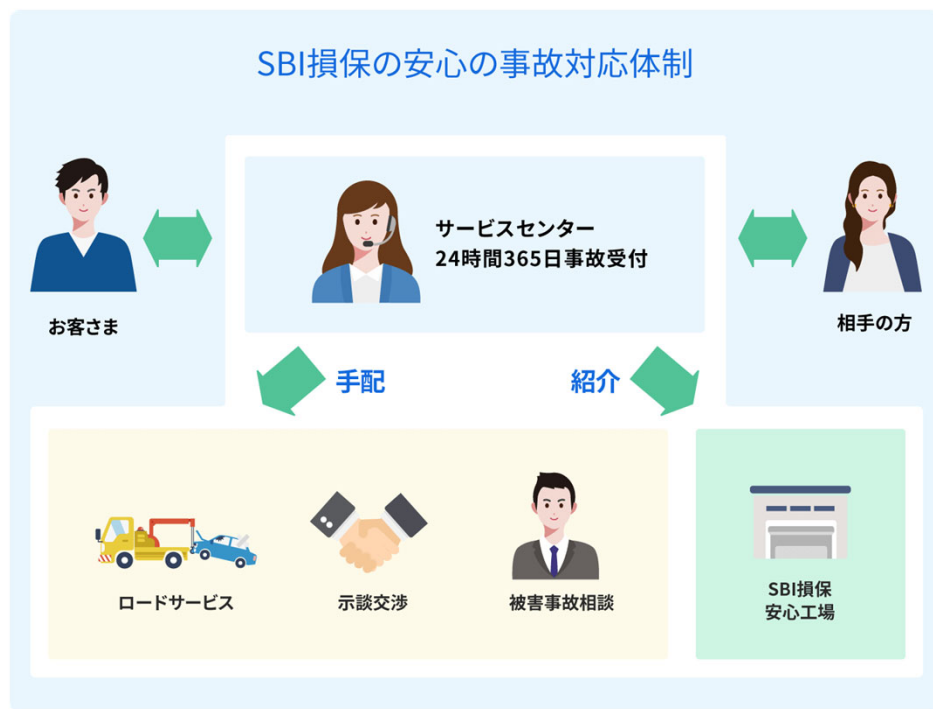
.....
人件費などのコストをカットして
自動車保険をリーズナブルに提供





いざという時の安心のために。「SBI 損保の自動車保険」は、安心の24時間365日事故受付。業界最高水準※のロードサービスもご提供

◆すべてのご契約にロードサービスが無料付帯。ご契約を継続して3年目以降など一定の条件を満たすと業界最高水準の【プレミアム】サービスにアップグレード



一定の条件を満たした場合に、下記のサービスをアップグレード！

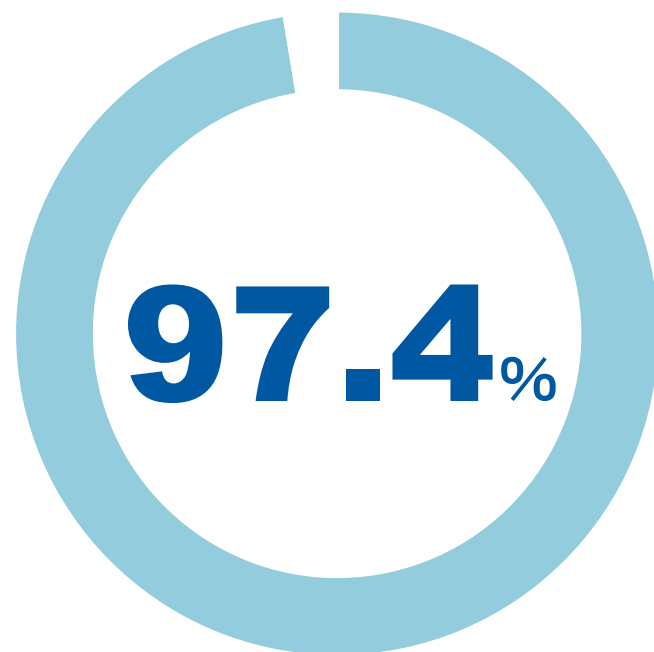
	基本サービス	【プレミアム】サービス
無料レッカー範囲 	お客さまが指定する修理工場などへは50kmまで無料	お客さまが指定する修理工場などへは150kmまで無料
現場復旧可能な作業の対応時間 	30分程度まで	時間の制限なし
キー紛失時の開錠・キー作成 	—	対応 (保険期間内で1回限り)
落輪引き上げ／引き降ろし (引き出し) 	車輪3輪までの作業が無料	全ての車輪が落輪した時の作業も無料
レンタカー 	24時間上限	48時間上限
搭乗者宿泊費用 	1泊まで1人あたり15,000円上限/泊	2泊まで1人あたり15,000円上限/泊
ペット宿泊費用 	—	2泊まで10,000円上限/泊
車両相談サービス 	—	ご利用可能

※ 2023年2月、SBI 損保調べ。



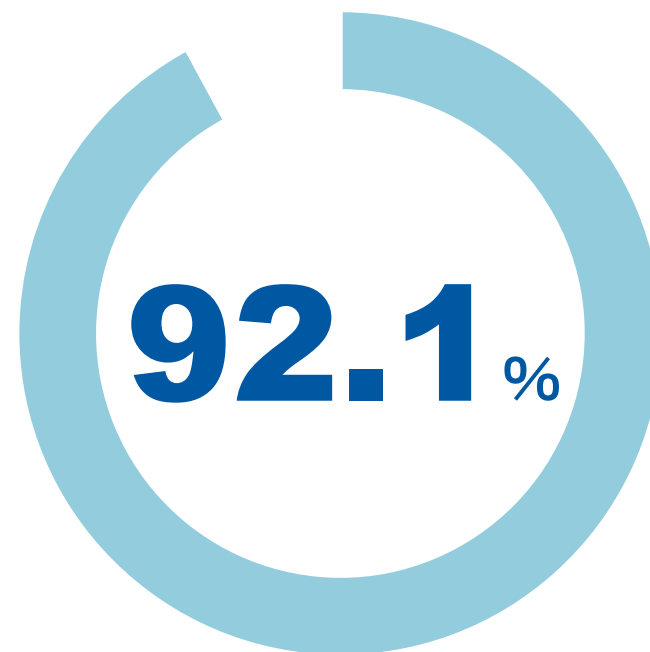
保険料、事故対応ともに高い顧客満足度。
9割弱のお客さまがご契約を継続

保険料満足度



※自動車保険に関する自社アンケートより、保険料にとても満足・満足・やや満足とご回答いただいた方の割合 (2023年1月から2023年6月に実施 回答数12,419件)

事故対応満足度



※事故対応に関する自社アンケートより、事故対応に大変満足・満足・やや満足とご回答いただいた方の割合 (2022年4月から2023年3月に実施 回答数: 13,883件)

2. SBI損保のがん保険 (自由診療タイプ)





「SBI損保の**がん保険**（自由診療タイプ）」は
“治療をあきらめない”をコンセプトに開発した
実損填補型のがん保険

◆おすすめポイント

1. がん治療にかかった分の
入院治療費を無制限にお支払い
2. 先進医療だけでなく、自由診療も
実際にかかった治療費をお支払い
3. 通院日数の制限なく、
最大1,000万円まで通院治療費を
お支払い

Financially stable





がんは治せる時代。
 ベストながん治療を受けるために、
 治療費についても万全を期すことが必要

◆ 先進医療や自由診療がベストな治療方法でも治療費は高額

先進医療の例

陽子線治療

平均約 **271**万円

重粒子線治療

平均約 **312**万円

〔出所〕厚生労働省 第93回先進医療会議資料の「令和2年度先進医療技術の実績報告等について（参考資料1）」をもとに作成（1件あたりの平均費用）

自由診療（抗がん剤治療）の例

未承認薬

尿路上皮がん
 エルダフィチニブ

約 **1,030**万円

適応外薬

子宮頸がん
 ペムブロリズマブ

約 **97**万円

〔出所〕調査機関とSBI損保の調査をもとに算出（1サイクルの参考価格、2020年6月現在）



3. 团体信用生命保险





大部分の金融機関において、住宅ローンの契約には団信への加入が必須条件
(団信 = 団体信用生命保険・団体信用就業不能保障保険)

◆ 安心の仕組み。団信とは

金融機関等からローンをお借入れになるお客さまを被保険者、金融機関等を保険契約者とし、被保険者がローン返済期間中に、死亡または所定の高度障害状態に該当した場合に支払われる保険金をローンの返済充当することで、被保険者の生計の安定を図るための団体保険です。



◆ SBI 生命の団信の特長

1. 特約が充実！
(団体信用生命保険)
2. すべての病気・ケガに対応！
(団体信用就業不能保障保険(特約))
3. ワイド団信で、お引受範囲を拡大！



全国の金融機関との提携交渉を推進。
2023年9月末時点で、**合計93機関**に
S B I 生命の団信を提供

◆ S B I 生命の団信は、**地域金融機関等による住宅ローン事業の収益性向上に貢献できる商品**

<提携金融機関>

アルプス中央信用金庫
飯田信用金庫
池田泉州銀行
上田信用金庫
沖縄銀行
かながわ信用金庫
川崎信用金庫
北九州銀行
北日本銀行
協栄信用組合
島根銀行
住信S B I ネット銀行

諏訪信用金庫
西武信用金庫
仙台銀行
東濃信用金庫
豊田信用金庫
長野信用金庫
浜松いわた信用金庫
飯能信用金庫
福島銀行
松本信用金庫
もみじ銀行
山口銀行

その他の提携先金融機関さま

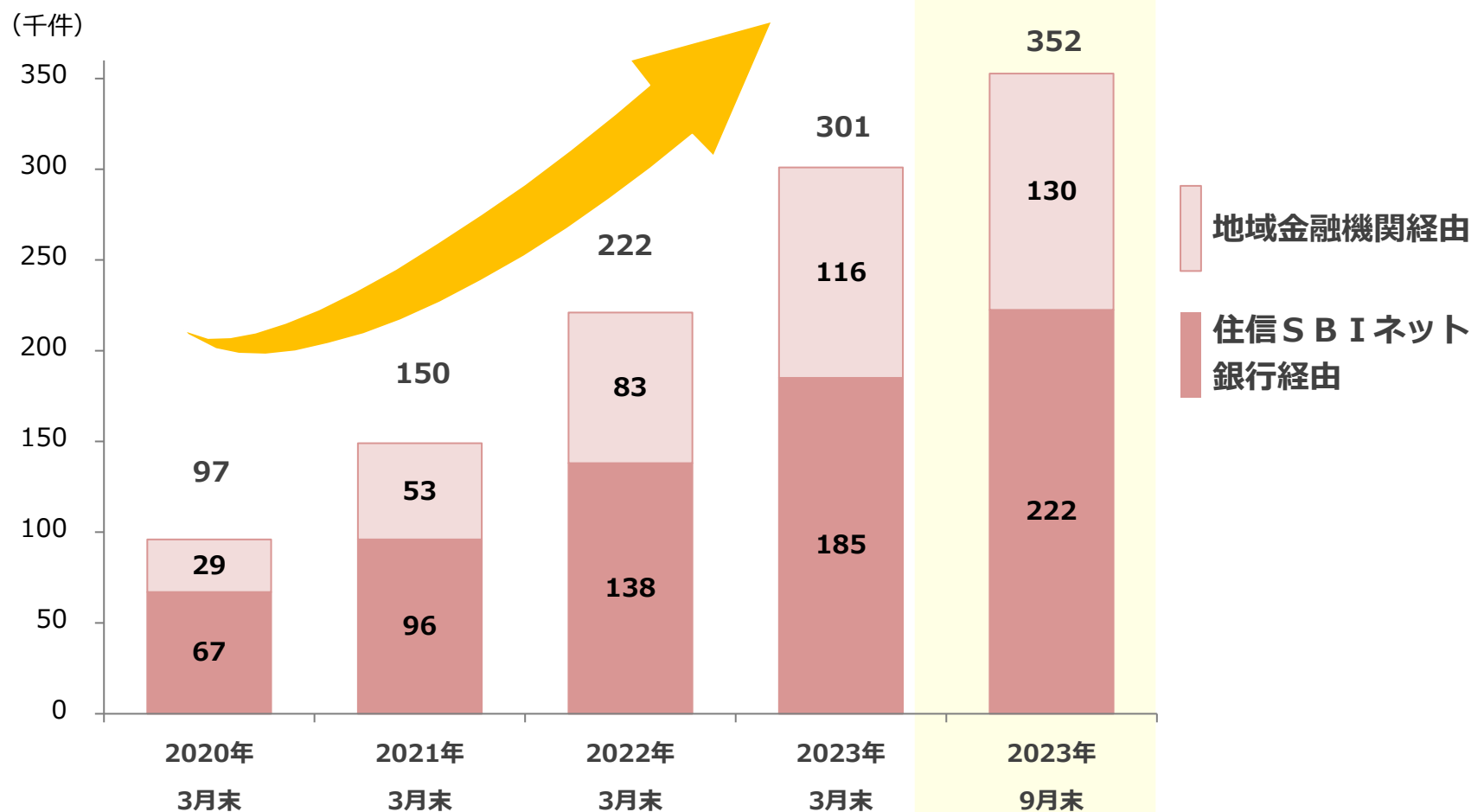
※五十音順





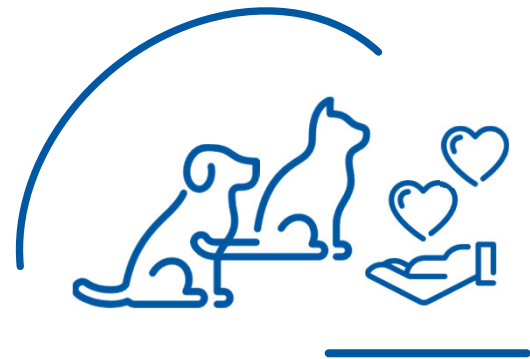
住信SBIネット銀行に加え、
地域金融機関での団信販売も好調に推移

団信累計申込件数



4. ペット保険

「プリズムペット」



SBI プリズム少短

SBIプリズム少短は、**ペット生活総合補償保険「プリズムペット」**を新発売（2023年4月）

- ◆ 業界初* の補償として『飼育費用補償特約』を提供
- ◆ ペット保険市場の拡大を追い風にさらなる業容拡大を目指す。

SBIプリズム少短のペット生活総合補償保険

プリズム  ペット

業界初*！ 飼育費用補償を付帯

飼い主さまにもしものことがあった場合に、
大切な家族であるペットを受け入れ施設に預ける際の費用を補償いたします。

*2023年4月現在

SBI プリズム少短

業界で初めて『飼育費用補償特約』を付帯。
ペットとの暮らしを安心して楽しめる補償を提供

🐾 飼育費用補償とは？



飼い主さまにもしものことがあった場合に
大切な家族であるペットを受け入れ施設に預ける際の費用
を補償いたします。

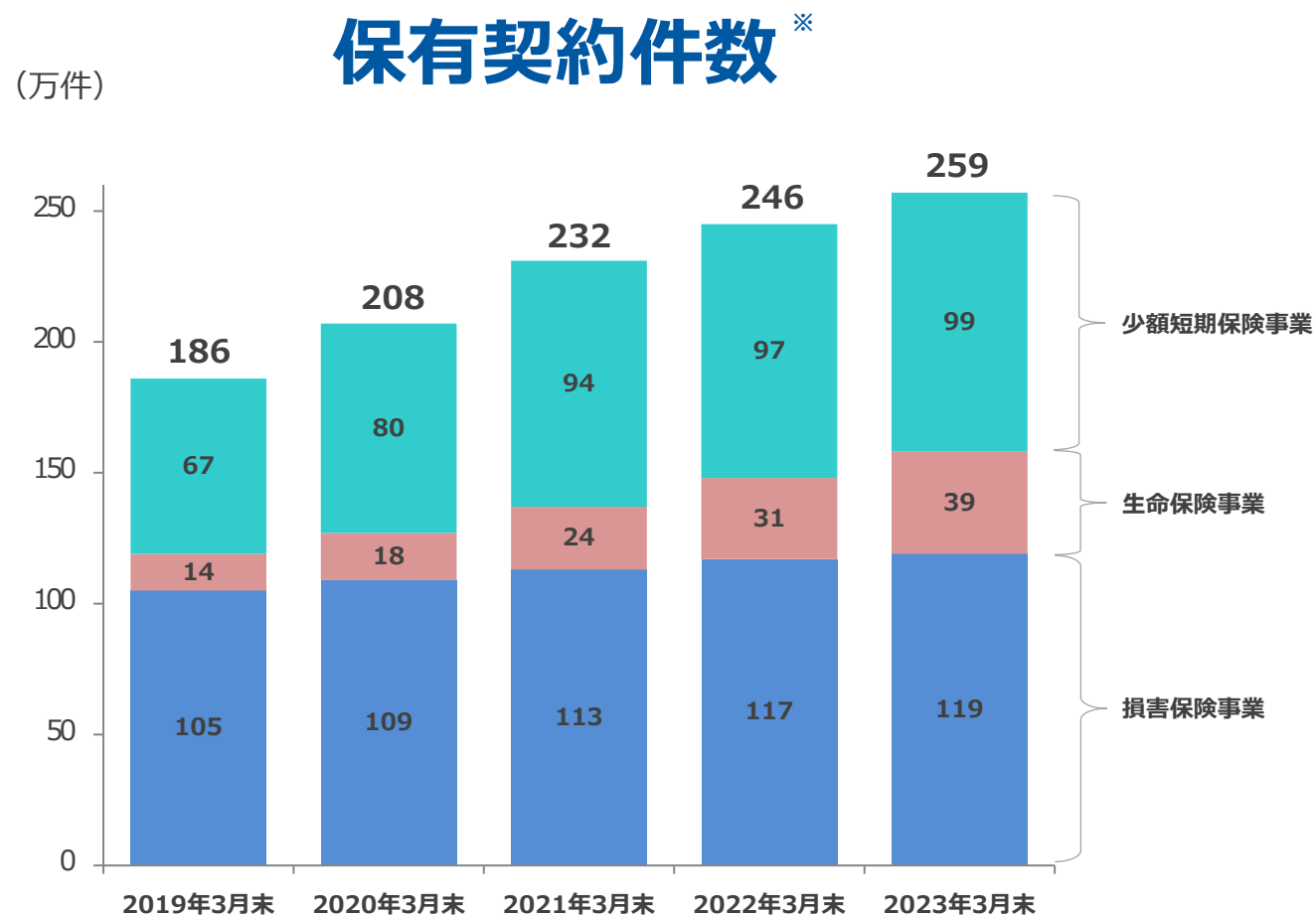
※家族等の第三者に譲渡された場合は対象外となります。



業績の推移

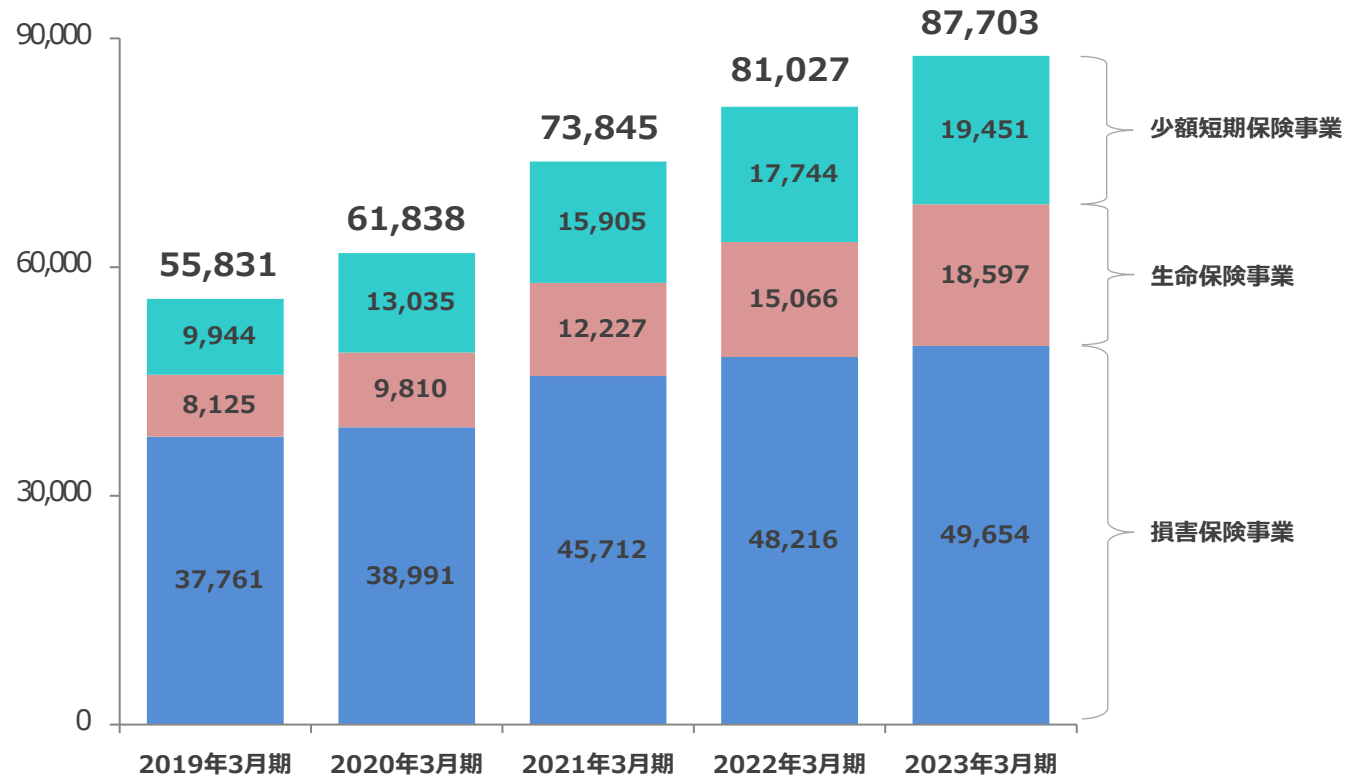
(上場期 ~ 前期)

自然災害の影響を受けるものの、基本的には保有契約件数および収入保険料の増加に応じて利益の水準が高まることを踏まえて、保有契約件数、収入保険料を経営指標として重視



収入保険料[※]

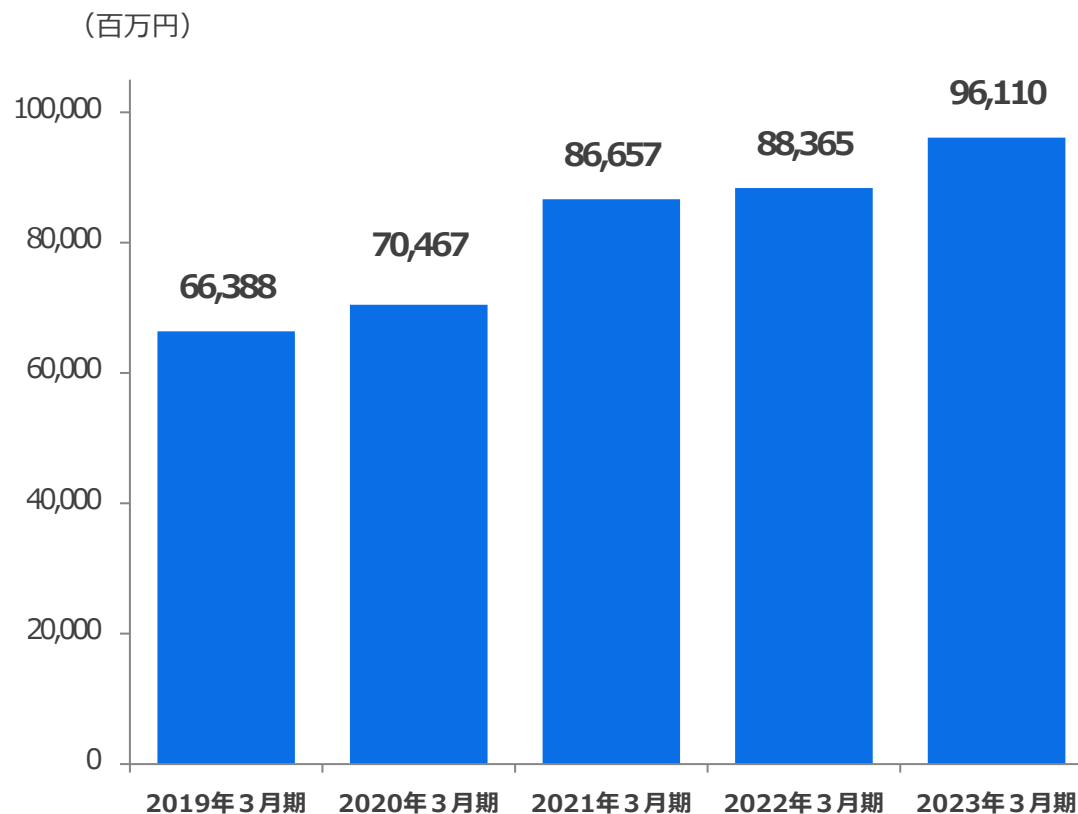
(百万円)



すべての事業において、保有契約件数の増加が続いた結果、
会社設立以来、連続して増収。進行期も増収増益を見込む

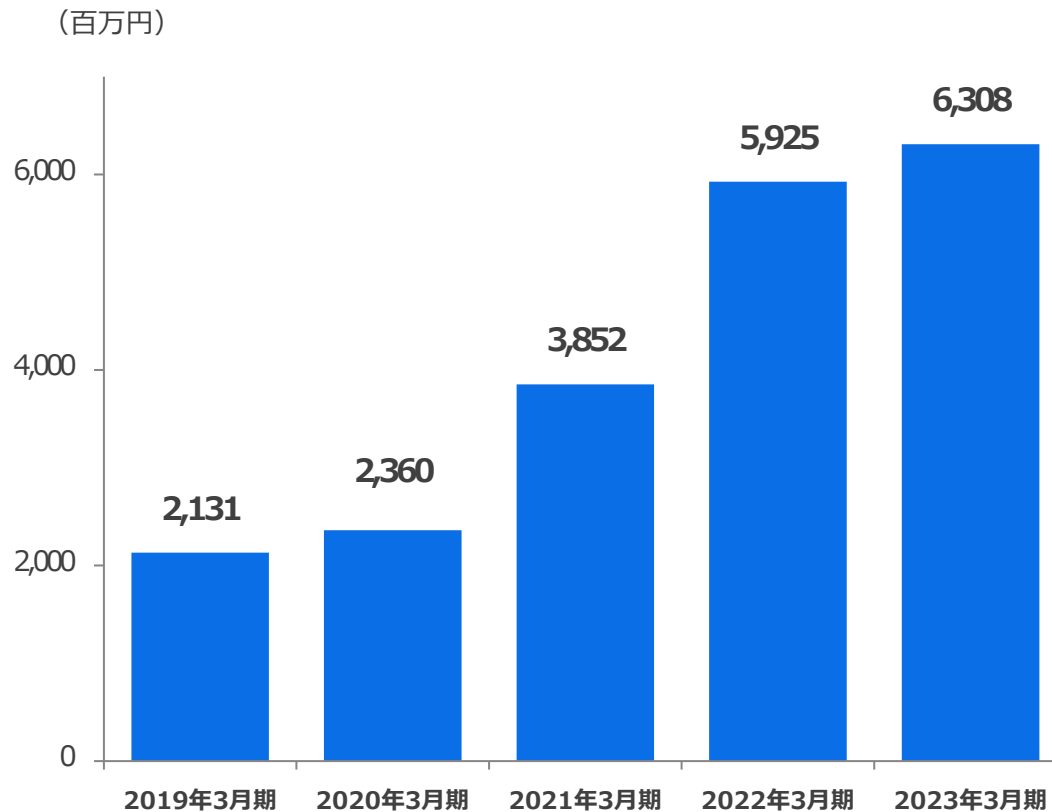
＜ 連結経営指標 ＞

経常収益



＜ 連結経営指標 ＞

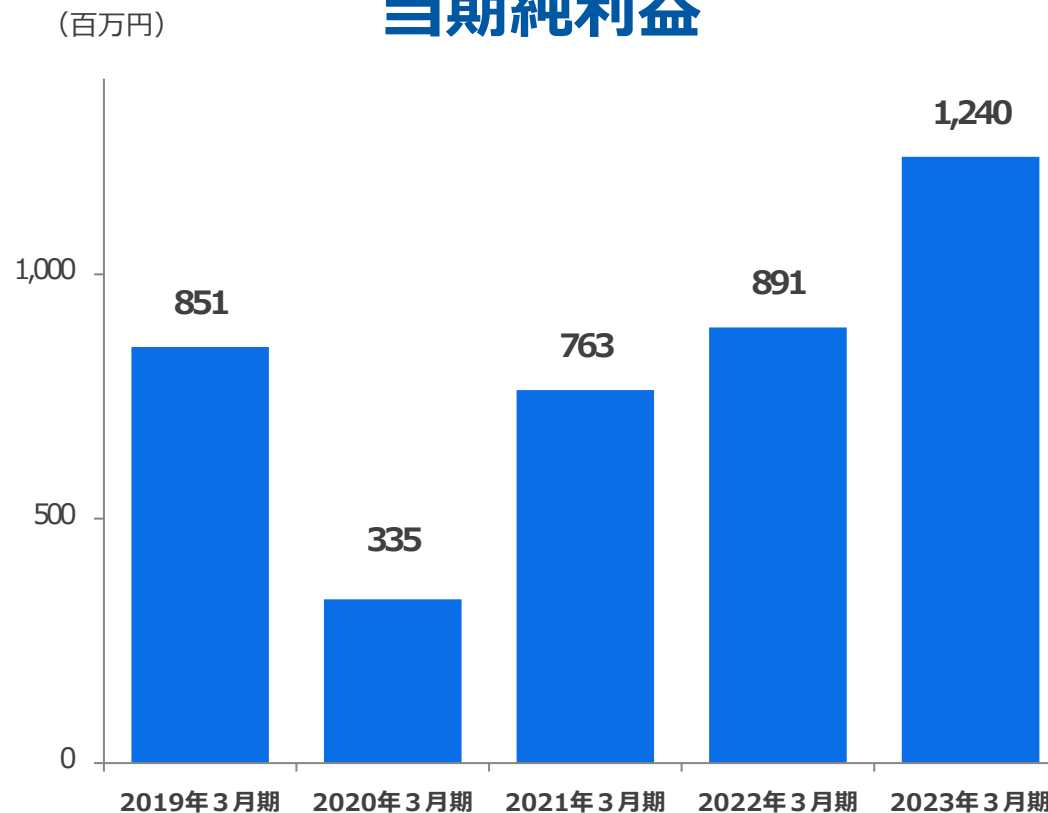
経常利益



主に損害保険事業において**自然災害の有無で利益が増減**する。
大規模な風水害が続いた2020年3月期、2021年3月期には
損害保険金の支払いが増加した結果、利益が一時的に減少

＜ 連結経営指標 ＞

親会社株主に帰属する
当期純利益



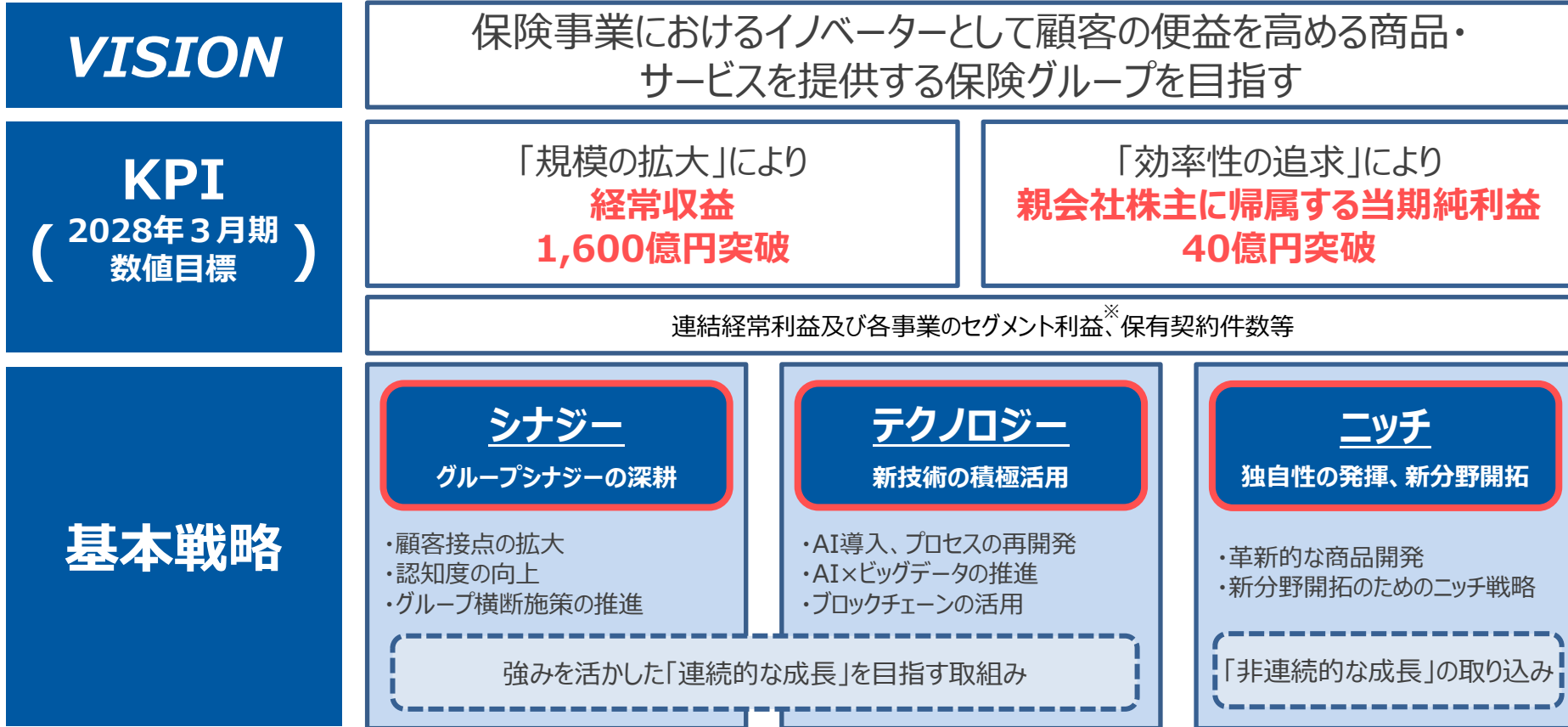


中期経営計画

(2023年5月公表)

「シナジー」、「テクノロジー」、「ニッチ」を基本戦略に据え、中期経営計画を策定

■ 中計基本戦略の骨子



※セグメント利益は各事業の「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載（従来は各事業の「経常利益」をセグメント利益としていたが、2024年3月期より変更）

2028年3月期に経常収益 **1,600億円**、当期純利益 **40億円** の達成に向けて、セグメントごとに戦略を策定。

(経営目標)

指 標	実 績	中 期 経 営 計 画 (計画期間：5年)			
	2023年3月期 (基準年度)	2024年3月期 (初年度)		2028年3月期 (最終年度)	
	金 額	金 額	基準年度比 増減率	金 額	基準年度比 増減率
経 常 収 益 (億円)	961億円	1,030億円	+7.2%	1,600億円	+66.5%
経 常 利 益 (億円)	63億円	80億円	+26.8%	170億円	+169.5%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 (億円)	12.4億円	13.7億円	+10.5%	40億円	+222.5%
1 株 あ た り 配 当 額 (円 銭)	10.00円	15.00円	+50.0%	30%前後の水準の 配当性向を目指す。	



足元の業績

(当第2四半期)

2024年3月期 第2四半期 連結業績

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期累計 (2022年4月～2022年9月)	2024年3月期 第2四半期累計 (2023年4月～2023年9月)	対前年同期 増減率
経常収益	47,897	過去最高 52,507	9.6%
経常利益	4,154	過去最高 4,851	16.8%
親会社株主に 帰属する 中間純利益	1,493	過去最高 1,667	11.6%

- ◆ 保有契約件数の堅調な増加が主な要因となり、9.6%の増収
- ◆ 経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益も2桁の増益

<https://www.sbiig.co.jp>

 **SBI** Insurance Group

SBIインシュアランスグループ株式会社

証券コード：7326